第６章　整備手法の検討 時点修正

本計画書は、目標年度を平成46年度に設定している。策定後８年が経過し、藤沢市の湘南Ｃ－Ｘの整備に合わせた辻堂駅西口関連整備及び市境道路整備は既に完了していることや赤松町まちづくりの考え方の内容を踏まえて整理する。

なお、幹線軸（東西・南北路線）や近郊型居住拠点（地域コミュニティ施設など）の整備は、引き続き協議を行っていくものとする。

表　整備手法とスケジュール

整備内容		整備の考え方	事業者	想定される事業手法	スケジュール 短期（平成18～25年）	スケジュール 中長期（平成26年～）
駅結節拠点 完了	西口駅舎改良 ホーム拡幅改良 西口駅前広場 西口跨線橋	湘南Ｃ－Ｘ（藤沢市）との一体整備	ＪＲ、 藤沢市、 茅ヶ崎市		平成23年 ９月完成	
都市型産業拠点	賑わい施設の導入 公開空地整備	産業育成の視点から茅ヶ崎市は税制の優遇措置。企業は地域貢献	民間	開発等に伴う誘導		企業との協議
「住」を中心に、活力と賑わいを創出する都市拠点（赤松町跡地活用） 新規	公園・緑地整備 区画道路の拡幅整備	開発に合わせ整備する	民間	土地区画整理事業、 地区計画等		平成29年 完成予定
	賑わい施設等の導入	開発に合わせ整備する	民間	開発等に伴う誘導		平成29年 完成予定
	魅力的な景観の形成	開発に合わせ整備する	民間	茅ヶ崎市景観計画特別景観まちづくり地区の指定による誘導		平成29年 完成予定
近郊型居住拠点	地域コミュニティ施設	大規模敷地の機能転換によって整備	地権者・民間	開発等に伴う誘導		地権者との協議
	住宅ゾーン	東西・南北路線との一体整備	地権者	地区計画等		地権者との協議
都心型優良居住ゾーン		壁面後退と敷地内緑化など	地権者	地区計画等		地区計画の検討
幹線軸 （辻堂赤羽根線（赤松通り））		沿道工場等の施設更新に合わせた歩行者空間の充実	地権者・民間	開発等に伴う誘導、 地区計画等		地権者との協議
幹線軸 （東西･南北路線）		沿道の一体整備	茅ヶ崎市	沿道整備街路事業 沿道区画整理型街路事業等		地権者との協議
歩行軸 完了 （市境道路整備）		湘南Ｃ－Ｘ（藤沢市）との一体整備	茅ヶ崎市、 藤沢市		平成21年 ６月完成	
公園整備		適切な位置に公園を整備	茅ヶ崎市	借地等による整備等		地権者との協議